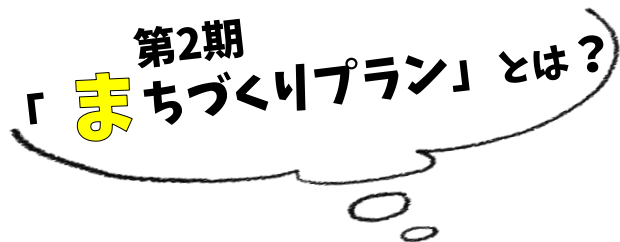


## 第2期まちづくりプラン、完成しました！

令和4年度の1年をかけて、今後10年間(令和5年度から令和14年度)までを見据えたまちづくりプランを策定して参りましたが、2月21日に開催した臨時総会にて、無事承認をいただきました。

“住んでよし、訪れてよし”ひとが輝く、ふれあいのまちを目指し、これからも更なる発展を遂げられるよう、鳥栖北地区の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



① 計画期間 … 2023年度～2032年度の10年間  
(第1期まちづくりプランは  
2013年度～2022年度でした)

② 将来像 … “住んでよし、訪れてよし”  
ひとが輝く、ふれあいのまち 鳥栖北

③ シンボルマーク …地区のシンボルである鳥栖北小学校校章を、鳥栖北地区まちづくり推進協議会のシンボルマークとします。



●課題●	●具体的な事業●
①地域社会に対する不安の高まりへの対応	子ども見守り隊事業、防災・安全点検事業
②人と人、人と地域との結びつきの希薄化への対応	秋の爽やか北さんぽ、鳥栖北小・鳥栖中各コミュニティースクール関連事業、文化祭
③地域を支える人の高齢化や固定化への対応	青少年育成事業、生涯学習推進事業
④人やまちにやさしい環境への対応	新花いっぱい運動、クリーンアップ事業、地域環境点検活動
⑤お互い助け合い、支え合う社会への対応	福祉のまちづくりを基本テーマに掲げ対応
⑥鳥栖の中心地としての顔づくりへの対応	秋の爽やか北さんぽ、通り名普及事業、地域資源の活用

上記の課題に加え、次の**研究課題**を設定し、市と情報を共有し、協働で調査・研究を行います。

- ① 「市民協働のまちづくり」として、自主避難所送迎事業・外出支援事業
- ② 「住民参加のまちづくり」として、ボランティア団体との連携事業の構築  
まちづくり人材掘りおこし事業
- ③ 「将来のまちづくり推進協議会の組織」として、総合的、一体的、体系的に組織を検討

# 長崎街道

## 最終回 第10歩

### ・村田町・

# 爽やか歴史さんぽ



長崎街道とは江戸時代に長崎と小倉を結んだもので、別名シュガーロードとも呼ばれ、宿場町などがあった場所です。鳥栖地域の田代・轟木宿にもオランダ使節のカピタン（商館長）行列や、任務のため往来する長崎奉行・幕府役人やあるいは商人などが盛んに往来・宿泊していました。

## 村田八幡神社

村田八幡神社は記録によれば、16世紀の戦国時代、時の領主・筑紫氏がこの地の村田氏からの進言で、江島村の石王八幡を移し創建したとあります。御神体は、住吉神・八幡神・宝満神の三体です。神社入口の肥前鳥居は市重要有形文化財です。江戸時代は村田鍋島藩の惣社と位置付けられ、領内の信仰も厚く「神幸祭」が奉納されています。



## 村田浮立

神幸祭の中心行事として、毎年10月15日に近い日曜日に村田町と江島町の氏子によって奉納され、豊年感謝・無病息災の芸能として盛大に行なわれています。↙



↘「村田浮立」は、最初から2頭立てで舞う村田町の獅子舞浮立と、江戸時代の大名行列の様式を残している江島町の行列浮立からなり、これが大きな特徴となっています。祭りは早朝から始まり、まず、江島のみこしが村田八幡神社へ行き、午前8時頃「神移し」を行ないます。午前10時頃からは村田の獅子・はぐま・鉦・太鼓・笛、江島の鉄砲・槍・はぐま・鉦箱および2基のみこしからなる“おくだり”の行列が始まります。↘

↘ 江島の下宮（石王社）へ着くとそこで獅子舞を奉納して昼食をとり、午後になって“おのぼり”が発し、同じコースを村田八幡神社まで練り歩きます。本宮と下宮で演じられる獅子舞は、1頭に2人の男子が入る「二人立ち」の形式で、子どもの太鼓打ちが舞い、青年達の鉦がそれに調子を合わせ、獅子は子ども2人の獅子つりに操られるようにして舞います。



赤と青の2頭の獅子

昨年6月号に今町を出発して始まったこのコーナーも、今号で村田町に到着し、最終回となりました。しかし、実際に長崎街道を歩く鳥栖北まち協主催の「秋の爽やか北さんぽ」は、今年もまた開催予定です。是非ご参加下さい。これまでご一読いただき、誠にありがとうございました。

